

|          |   |    |           |    |     |
|----------|---|----|-----------|----|-----|
| 氏名       | 嵐末 憲子   | 部署 | 社会福祉子ども学科 | 職名 | 准教授 |
| 研究分野     | 地域支援・ソーシャルケア・専門職連携  |    |           |    |     |
| 学位       | 修士（社会福祉学）   |    |           |    |     |
| 学歴       | 1988年3月熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程 卒業、2000年3月日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科 博士前期課程修了、2022年3月国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了 |    |           |    |     |
| 経歴       | 2003年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授  |    |           |    |     |
| 所属学会（役職） | 日本介護福祉学会（査読委員）、日本保健医療福祉連携教育学会（査読委員）、日本日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会、日本老年行動科学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会                  |    |           |    |     |

【2021年度実績】

|         |  |     |      |           |                                    |  |         |
|---------|--|-----|------|-----------|------------------------------------|--|---------|
| 1. 研究業績 |  |     |      |           |                                    |  |         |
| (1) 著作  |  |     |      |           |                                    |  |         |
|         | 著作の名称  | 単・共 | ISBN | 発行所、全ページ数 | 著者、編者名                             | 発行等年月                                      |         |
| 1       | 該当なし   |     |      |           |                                    |  |         |
| (2) 論文  |  |     |      |           |                                    |  |         |
|         | 論文の名称  | 単・共 | 査読   | IF対象誌     | 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ                  | 著者、編者名                                     | 発表等年月   |
| 1       | DX時代の経過記録 F-SOAIPの解説と実践（第6回）記録教育の重要性と電子カルテベンダーへの期待   | 共著  | なし   |           | 最新医療経営 PHASE3：441：P.36-39          | 監修・執筆：小嶋章吾、嵐末憲子 / 大平義之                     | 2021.4  |
| 2       | DX時代の地域共生社会をF-SOAIPで推進～行政による先駆的実践 最終回 自治体行政リーダーシップと求められる国の記録標準化                              | 共著  | なし   |           | 住民行政の窓：493：P.4-16                  | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾 / 高桑春彦、藤井江美、杉田まどか          | 2021.4  |
| 3       | DX時代の経過記録 F-SOAIPの解説と実践（第7回）、記録システム・記録教育へF-SOAIPの位置づけを～医療・介護・福祉の情報共有プラットフォーム構築のために           | 共著  | なし   |           | 最新医療経営 PHASE3：442：P.36-39          | 監修・執筆：小嶋章吾、嵐末憲子 / 小川克巳                     | 2021.5  |
| 4       | 記録革命が未来を拓く 第1回、F-SOAIPで介護支援経過記録のイノベーションを～ケアマネジャーを巡る課題解決へのソーシャルアクション～                         | 共著  | なし   |           | 月刊ケアマネジメント：32(6)：P.38-40           | 嵐末憲子、小嶋章吾                                  | 2021.6  |
| 5       | 記録革命が未来を拓く 第2回、介護記録法標準化によるデータ活用へのキックオフから多職種のF-SOAIPがマイクロ・メゾ・マクロのPDCAサイクルを促進～                 | 共著  | なし   |           | 月刊ケアマネジメント：32(7)：P.38-41           | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾 / 川村静香・中村友・政岡朋・岡田泰治        | 2021.7  |
| 6       | 記録革命が未来を拓く 第3回、「適切なケアマネジメント手法」へのF-SOAIPの活用提案～自治体と職能団体の協働による高齢・障害・児童などの多領域展開を見据えて～            | 共著  | なし   |           | 月刊ケアマネジメント：32(8)：P.42-46           | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾 / 齊木大、藤井江美                 | 2021.8  |
| 7       | 記録革命が未来を拓く 第4回、公益社団法人京都府介護支援専門員会による先進例から学ぶ～F-SOAIPによるデータの蓄積・分析・検証を見据えて～                      | 共著  | なし   |           | 月刊ケアマネジメント：32(9)：P.42-46           | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾 / 川添チエミ、甲田由美子(京都府介護支援専門員会) | 2021.9  |
| 8       | 記録革命が未来を拓く 第5回、支援経過記録を事例検討や調査研究に役立てる研修・教育への展望～マイクロ・メゾ・マクロレベルで活用できる「F-SOAIPワークシート【初回・導入・OJT版】 | 共著  | なし   |           | 月刊ケアマネジメント2021年10月号：32(10)：P.42-46 | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾 / 田中真佐恵、中辻朋博、関谷喜代美、遠藤貴美子   | 2021.10 |

|          |  |     |          |  |                              |                                      |         |
|----------|--|-----|----------|--|------------------------------|--------------------------------------|---------|
| 9        | F-SOAIPによる認知症ケアのイノベーション【連載第1回】認知症ケアに求められる生活支援記録法（F-SOAIP）～ミクロ・メゾ・マクロレベルでの好循環           | 共著  | なし       |  | 認知症ケア：22(3)：P.66-75          | 嵐末憲子、小嶋章吾、川添学                        | 2021.10 |
| 10       | 実践報告 看護現場に多面的効果を期待できるF-SOAIPとその実践 ICT化や多職種連携における看護実践の可視化をイノベーション                       | 共著  | なし       |  | 看護管理：31(10)：P.932-938        | 嵐末憲子・小嶋章吾・小野幸代・松田和也                  | 2021.10 |
| 11       | 記録革命が未来を拓く 第6回、職能団体におけるF-SOAIPを活用したミクロ・メゾ・マクロレベルの好循環～埼玉県での先駆的展開による新領域や既存システムへのイノベーション～ | 共著  | なし       |  | 月刊ケアマネジメント：32(11)：P.42-46    | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾／幡野敏彦、杉田まどか           | 2021.11 |
| 12       | 記録革命が未来を拓く 第7回、調査研究におけるF-SOAIPのデータ利活用に向けたソーシャルアクション                                    | 共著  | なし       |  | 月刊ケアマネジメント：32(12)：P.52-56    | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾／横山裕子                 | 2021.12 |
| 13       | F-SOAIPによる認知症ケアのイノベーション【連載第2回】LIFEとF-SOAIPによるPDCAサイクルの促進に実績のある施設での学習療法                 | 共著  | なし       |  | 認知症ケア：22(4)：P.59-65          | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾／松田和也、鹿野加奈江、谷口一徳、小口英樹 | 2021.12 |
| 14       | 生活支援記録法F-SOAIP オンライン座談会「LIFE 科学的介護の取り入れ方について 今後の見通しを語る」                                | 共著  | なし       |  | 訪問リハビリテーション：140(2):P.378-384 | 企画・監修：嵐末憲子・小嶋章吾／小川克巳・高橋暢介・松田和也・久保成美  | 2022.1  |
| 15       | 記録革命が未来を拓く 第8回、F-SOAIPの包括的活用によるデータインフラとしての協創・イノベーション～大分県介護支援専門員協会および介護老人保健施設からの発信～     | 共著  | なし       |  | 月刊ケアマネジメント：33(1)：P.46-50     | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾／時枝琢二、松田和也・高橋真実       | 2022.1  |
| 16       | F-SOAIP（エフソ・アイビー）の概要とその活用法ー栄養ケアの質向上と多職種連携に有用な記録方法                                      | 共著  | なし       |  | 臨床栄養：140(2)：P.146-148        | 小嶋章吾、嵐末憲子                            | 2022.2  |
| 17       | 記録革命が未来を拓く 第9回、職能団体によるF-SOAIPを活用したミクロ・メゾ・マクロレベルの好循環～埼玉県での先駆的展開による新領域や既存システムへのイノベーション～  | 共著  | なし       |  | 月刊ケアマネジメント：33(2)：P.48-52     | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾／福岡博聖・三好典子・新川由美、千葉明子  | 2022.2  |
| 18       | 記録革命が未来を拓く 第10回、F-SOAIPの包括的活用に向けたICT化の提案～ミクロでの導入がメゾ・マクロでも活用・分析に資するイノベーションへの期待～         | 共著  | なし       |  | 月刊ケアマネジメント：33(3)：P.46-50     | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾／立川正史・吉田隆宏、山田準一、清水信貴  | 2022.3  |
| 19       | F-SOAIPによる認知症ケアのイノベーション【連載第3回】F-SOAIPの包括的活用による認知症ケアへの期待～データ化による協創がAIのBPSD発症予測に貢献       | 共著  | なし       |  | 認知症ケア：23(1)：P.59-65          | 監修・執筆：嵐末憲子、小嶋章吾／阿部(藤田)育美・佐藤静江・相馬康子   | 2022.3  |
| (3) 学会発表 |  |     |          |  |                              |                                      |         |
|          | 学会発表の演題  | 単・共 | 学会名、開催都市 |  | 発表者（発表者は○印）                  |                                      | 発表等年月   |
|          | 該当なし   |     |          |  |                              |                                      |         |
| (4) その他  |  |     |          |  |                              |                                      |         |
|          | 名称   | 単・共 | 発表場所等    |  | 発表者（発表者は○印）                  |                                      | 発表等年月   |
|          | 該当なし   |     |          |  |                              |                                      |         |

| 2. 競争的資金等の研究 |  |   |                                     |   |
|--------------|--|---|-------------------------------------|---|
|              | 競争的資金等の名称                                    | 研究名   | 研究代表者・研究分担者の別                       | 研究期間  |
| 1            | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）                 | ICT・IPWに資する生活支援記録法によるマイクロ～マクロの革新的好循環モデル構築   | 研究代表者                               | 2021.4～2022.3   |
| 2            | 日本医療研究開発機構（AMED）：認知症対応型AI・IoTシステム研究推進事業（総務省） | BPSD予測・予防により介護負担を軽減する認知症対応型AI・IoTサービスの開発と実装 | 研究分担者（研究代表者：認知症介護研究・研修東京センター 山口晴保）  | 2021.4～2022.3   |
| 3            | 令和3年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業：政策科学推進研究事業）     | F-SOAIPを用いた特別な支援の必要な保護者対応の記録システムの開発         | 研究分担者（研究代表者：名古屋市立大学大学院 上田敏文）        | 2021.4～2022.3   |
| 3. 教育業績      |  |   |                                     |   |
| (1) 講義       |  |   |                                     |   |
|              | 講義の名称  | 科目責任者                                       | コマ数                                 | 概要（教育内容・方法等において工夫した点）   |
| 1            | 介護福祉概論                                       | ○   | 15                                  | オンラインにて、執筆したテキストを用い、利用者体験課題によるグループワーク、生活アセスメント等、双方向の講義となるよう工夫した。また、実践面や研究成果をふまえ講義に還元した。                                   |
| 2            | IPW論（大学院）                                    |   | 4                                   | 初回や発表会、最終の振り返りの他、「地域共生社会時代にIPWの実践過程を可視化する生活支援記録法（F-SOAIP）～実践や研究でのデータ利活用による変革を期待して～」を担当した。                                 |
| (2) 演習       |  |   |                                     |   |
|              | 演習の名称  | 科目責任者                                       | コマ数                                 | 概要（教育内容・方法等において工夫した点）   |
| 1            | ケアサービス演習                                     | ○   | 15                                  | 実習Ⅰや進路支援にも有用となるよう工夫し、回想法によるプロセスレコード、介護予防による地域展開等のグループワークを展開した。ゲストは学習療法の全国的リーダーを九州よりオンラインにて招聘し公開授業とした。                     |
| 2            | IPW演習(2開講)                                   | ○   | 15                                  | 科目責任者として、IPW論での学びをふまえ、IPW実習に活かせるよう、IPW実習①で担当した4年生のオリへの参加を実現した。  |
| 3            | ソーシャルワーク演習Ⅰ                                  |   | 15                                  | 科目責任者と協力し、オンラインと対面での授業を交互に実施し、学生の学びが今後の演習・実習・実践に活かせるよう、リフレクションに留意した。  |
| 4            | ソーシャルワーク演習Ⅱ                                  |   | 15                                  | 3回ずつ4グループを担当した。現任者に求められながら養成課程ではテキスト類も十分でない経過記録としてF-SOAIPを教授し、授業資料の一部を公開した。   |
| 5            | 社会福祉専門演習Ⅱ                                    |   | 15                                  | 学生（2名）が関心や理解をもとに、SW分野のテーマを探求できるよう、また進路支援も併せてオンラインにて指導した。  |
| 6            | 社会福祉専門演習Ⅲ                                    |   | 15                                  | 卒業研究を進める過程において、ソーシャルワーク演習や社会調査の学びを活用しながら、学生（4名）をオンラインにて指導した。  |
| 7            | 社会福祉専門演習Ⅳ                                    |   | 15                                  | 卒業研究の論文執筆・プレゼンを通じ、ソーシャルワーク演習や卒業後に役立てられるよう、学生（4名）をオンラインにて指導した。   |
| (3) 実習       |  |   |                                     |   |
|              | 実習の名称  | 科目責任者                                       | 学外実習：期間<br>学内実習：コマ数                 | 概要（教育内容・方法等において工夫した点）   |
| 1            | ソーシャルワーク実習指導Ⅱ                                |   | 15                                  | コロナ禍での学内実習後、オンラインにて科目責任者らと協力して、グループワークや実習報告会、実習報告書の指導を行った。  |
| 2            | ソーシャルワーク実習指導Ⅰ                                |   | 15                                  | 学外実習を5日間実施すべく「ソーシャルワークとケアワーク」「プロセスレコード」の講義を担当し、実習課題やレポートの指導を行った。  |
| 3            | ソーシャルワーク実習Ⅰ                                  |   | 50（学内実習）<br>2022.2～2022.3<br>（学外実習） | 学外実習10日分を学内実習としてオンラインにて、科目責任者らと共に、利用者や専門職へのインタビュー体験をプログラムとして実施。職場・職種習・ソーシャルワーク実習を意識できるよう留意した。学外実習は、実習指導者と連携を密にし、5日間を確保した。 |

|                        |  |                            |   |   |
|------------------------|--|----------------------------|---|---|
| 4                      | IPW実習                                      |                            | 2022.8  | 4大学の学生を対象とし、実習指導者と連携しながら、オンラインでも、利用者や家族や専門職とのインタビューを通じ、高い目標を達成できるよう務めた。 |
| (4) 論文指導               |  |                            |   |   |
|                        | 対象   | 期間                         | 主指導・副指導の別及び指導人数   |   |
| 1                      | 卒業論文                                       | 2021.4～2022.3              | 主指導   | 副指導   |
| (5) その他                |  |                            |   |   |
|                        | 名称   | 期間                         | 概要（教育内容・方法等において工夫した点）   |   |
| 1                      | 国際医療福祉大学大学院 博士前期課程「医療福祉面接記録法」（講師）          | 2021.5～2021.7              | 国際医療福祉大学大学院 乃木坂スクールの科目「DX時代の効果的・効率的な経過記録法～F-SOAIPの基礎と応用～」として同時開講し、希望者が自立的に研修講師を担えることを目途とした。 |   |
| 2                      | IPW総合課程 「IPWにおけるリフレクションと葛藤」                | 2021.9                     | 課程内でのグループ体験が少ない中ででの演習の展開に留意した。後の実習や現場にて、本内容が活用できるよう展開した。                                    |   |
| 3                      | 生活支援記録法（F-SOAIP）実践・教育研究所：F-SOAIP研究会（オンライン） | 2020.12～                   | F-SOAIPの導入者や教育者、研究者等を対象に、研究支援を目的として領域別に2回開催した。  |   |
| 4. 社会貢献活動              |  |                            |   |   |
| (1) 講演会、研修会、公開講座等の講師   |  |                            |   |   |
|                        | 講演会、研修会、公開講座等の名称                           | 主催                         | 講演、研修、公開講座等のテーマ   | 開催年月  |
| 1                      | 国際医療福祉大学大学院 乃木坂スクール                        | 国際医療福祉大学大学院                | 「DX時代の効果的・効率的な経過記録法～生活支援記録法（F-SOAIP）の基礎と応用～」全4回   | 2021.5～7  |
| 2                      | 看護師職能委員会Ⅱ企画研修会                             | 埼玉県看護協会                    | 実践過程を可視化する（生活支援記録法）F-SOAIPの基礎   | 2021.7  |
| 3                      | 社会福祉法人小田原福祉会 幹部対象                          | 特別養護老人ホーム潤生園               | 実践過程を可視化する生活支援記録法（F-SOAIP）の基礎   | 2021.7  |
| 4                      | 台東区介護サービス人材確保事業 台東区ケアマスター2021 講座（オンデマンド）   | 台東区社会福祉事業団                 | 根拠ある実践を記録する方法【生活支援記録法 F-SOAIP】  | 2021.9～12   |
| 5                      | 社会福祉法人福泉会 法人全体研修                           | 社会福祉法人福泉会（静岡県）             | 障害福祉サービスの実践過程を可視化して好循環をもたらす生活支援記録法 F-SOAIP～多機関・多職種にイノベーションを！～                               | 2021.10   |
| 6                      | “地域連携薬局”申請と展開のノウハウを考える研修会                  | NPO法人HAP主催                 | F-SOAIP（エフソ・アイビー）とはまず知ってみよう、考えてみよう  | 2021.11   |
| 7                      | F-SOAIP研修会                                 | 和歌山県紀美野町                   | 根拠ある実践を記録する方法【生活支援記録法 F-SOAIP】～多職種の実践過程を可視化してイノベーションを！！～                                    | 2021.11   |
| 8                      | 令和3年度相談支援コーディネーター養成研修【基礎編】                 | 栃木県社会福祉協議会                 | 重層的支援体制事業における多機関・多職種の実践過程を促進するリフレクションを中心に   | 2021.12   |
| 9                      | 那須こどもの家 研修                                 | 児童心理治療施設 那須こどもの家           | 生活支援記録法 F-SOAIP   | 2022.2  |
| 10                     | 日本ケアマネジメント学会 オンライン研修                       | 日本ケアマネジメント学会 関東認定ケアマネジャーの会 | 実践過程を可視化する（生活支援記録法）F-SOAIPの基礎   | 2022.3  |
| (2) 国、自治体、学術団体等における委員等 |  |                            |   |   |
|                        | 国、自治体、学術団体等の名称                             | 委員等の名称                     |   | 任期  |
| 1                      | 日本介護福祉学会                                   | 査読委員                       |   | 2021.4～2022.3   |
| 2                      | とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会                       | 企画委員                       |   | 2021.4～2022.3   |
| (3) ジャーナリズムでの発言        |  |                            |   |   |

|                           | メディア等の名称   | 内容   | 年月  |               |
|---------------------------|--|--|---|---------------|
| 1                         | 放送大学BS531、ラジオ放送放(送大学教育振興会)   | 科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第2回「高齢期における心身の変化と対応－自助・互助を中心に」                  | 3回/年                                      |               |
| 2                         | 放送大学BS531、ラジオ放送放(送大学教育振興会)   | 科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第10回「要介護高齢者の生活支援－介護保険のサービス体系と展開、介護保険の利用とサービス体系」 | 3回/年                                      |               |
| 3                         | 放送大学BS531、ラジオ放送放(送大学教育振興会)   | 科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第11回「要介護高齢者の生活支援－認知症と看取りを中心に」                   | 3回/年                                      |               |
| 4                         | 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、Sun 介護福祉経営士の情報誌 No34、P.22-23.   | 「介護経営・LIFEに役立つ多職種で共用できる介護記録法 DX・AI時代にF-SOAIで介護現場に真のイノベーションを」       | 2021.10                                   |               |
| 5                         | (株)タニシ企画印刷、きゃぶず便り、68号、P1-4   | 「F-SOAIで介護・看護・福祉・保育の「実施記録」にイノベーションを」                               | 2021.12                                   |               |
| (4) その他                   |  |  |   |               |
|                           | 項目   | 相手方等   | 内容  | 期間            |
| 1                         | 地域貢献活動   | 和歌山県紀美野町<br>栃木県那珂川町  | 行政を対象とした「福祉相談支援システム」(F-SOAI搭載)を導入する自治体の支援 | 2021.4～2022.3 |
| 2                         | 地域貢献活動   | とちぎソーシャルケアサ<br>ビス従事者協議会  | 20周年誌の準備など                                | 2021.4～2022.3 |
| 3                         | 地域貢献活動   | 埼玉県作業療法士会および<br>埼玉県介護支援専門員協会                                       | F-SOAIを用いた相互理解の研修事業の支援                    | 2021.8～2022.1 |
| 4                         | 該当なし   | KUMON学習療法センター  | 学習療法の実施施設によるF-SOAI導入の効果等についての検討           | 2021.8～2022.1 |
| 5                         | 産業支援   | 川崎市と川口市にてICT化<br>を進めるケアマネジャー                                       | F-SOAIのICT化支援                             | 2021.9～2022.3 |
| 5. 学内運営                   |  |  |   |               |
|                           | 項目   | 内容   | 期間  |               |
| 1                         | 全学的委員会及びセンター業務等  | I PW総合課程にて「I PWにおけるリフレクションと葛藤」を担当                                  | 2021.9                                    |               |
| 2                         | 全学的委員会及びセンター業務等  | 専門職連携推進部会員   | 2021.4～2022.3                             |               |
| 3                         | 全学的委員会及びセンター業務等  | 奨励研究部会員  | 2021.4～2022.3                             |               |
| 4                         | 全学的委員会及びセンター業務等  | 保健医療福祉科目担当者会より、教務運営部会と兼務   | 2021.4～2022.3                             |               |
| 5                         | 全学的委員会及びセンター業務等  | ヒューマンケア実習室調整を担当  | 2021.4～2022.3                             |               |
| 6                         | 大学広報活動   | 研究シーズを提出   | 2021.4                                    |               |
| 7                         | 該当なし   | 四大学連携事業への参画とワーキングにて発表  | 2021.7～2022.3                             |               |
| 8                         | 学生支援   | 2年次生学年担当、社会福祉専門演習I調整など   | 2021.4～2022.3                             |               |
| 9                         | 学科等における委員会等  | 社福カリキュラム検討ワーキングへの参画  | 2021.4～2021.11                            |               |
| 10                        | 学科等における委員会等  | 社福新カリキュラム科目責任担当者会への参画  | 2021.12～2022.3                            |               |
| 6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの) |  |  |   |               |
|                           | 受賞名  | 主催   | 受賞年月                                      |               |
| 1                         | 該当なし   |  |   |               |
| 7. 特許の取得                  |  |  |   |               |
|                           | 特許名  | 特許番号   | 登録年月                                      |               |
| 1                         | 該当なし   |  |   |               |
| 8. 特記事項                   |  |  |   |               |
| 1                         | F-SOAIの研修や導入後のOJTを実施する等して協力した、令和2年度老人保健事業推進費補助金等 老人保健健康増進等事業による「介護記録法の標準化調査研究事業」報告書(2021年4月)は、その後、厚生労働省、介護分野における生産性向上の取り組みを促進するツールにおける調査研究として、HP ( <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei_tool.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei_tool.html</a> ) に掲載されている。 |  |   |               |